

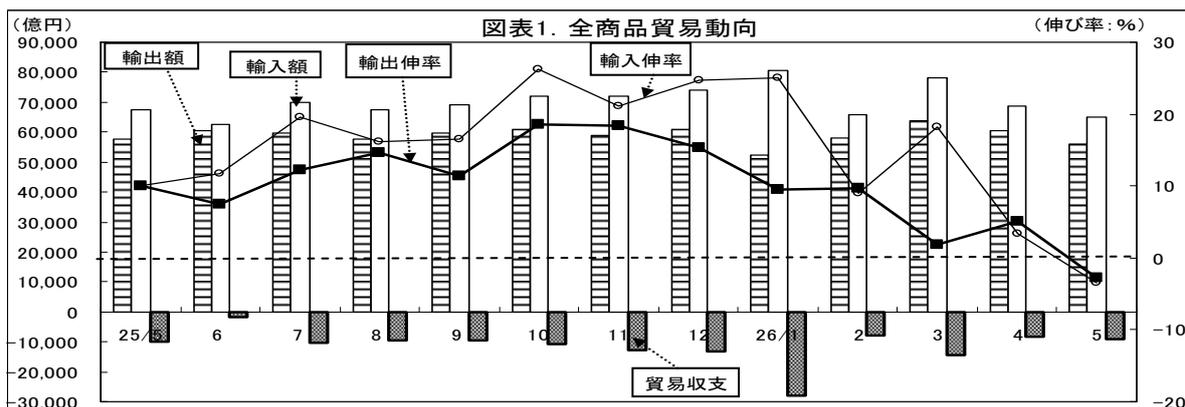
# 最近の機械貿易動向(5月)～機械輸出伸び率マイナス、為替要因除くとプラス成長～

日本機械輸出組合 2014.7.25.

平成26年5月の機械輸出額は3兆5,373億円、対前年同月比1.3%減と13ヶ月ぶりのマイナスとなった。これは、①営業日が1日少ないことなどから2.9%のマイナス要因となったこと、②北米、NIES/ASEAN、その他地域向けがマイナスとなったこと、③機械輸出額の約32%を占める自動車や、産業機械がマイナスになったことなどによる。営業日が1日少ないことなどが減少要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は1.6%増と2ヶ月連続でプラスとなった。6月も円安傾向は継続するものの、営業日が一日多いため、6.3%の増加要因となる。仮に5月の機械輸出額の実質的伸び(1.6%増)が続くとすれば、前年比8.4%増と予想されたが、7月24日発表の貿易統計速報による簡易計算では6月の機械輸出は1.6%減であった。

## 1. 全商品貿易動向～輸出は15ヶ月ぶり、輸入は19ヶ月ぶりにマイナスの伸び～

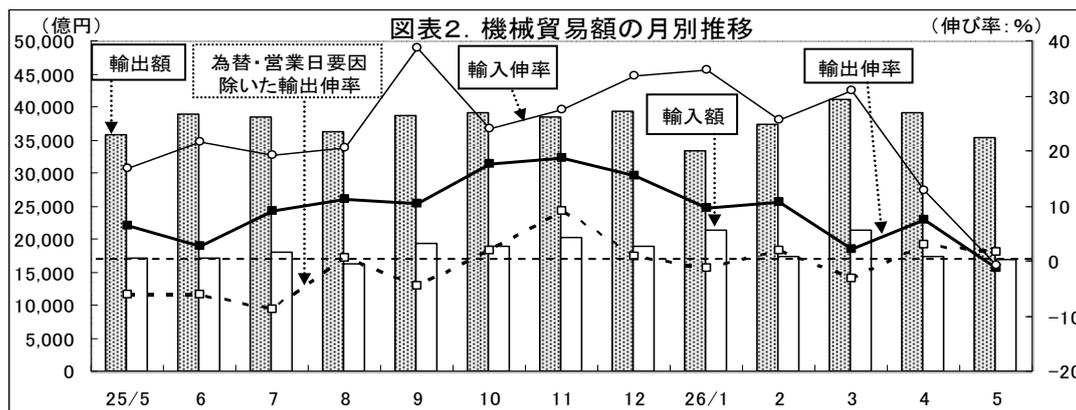
- 1)平成26年5月の全商品輸出額は5兆6,074億円、前年同月比(以下同じ)2.7%減と15ヶ月ぶりのマイナスとなった(4月5.1%増)。これは、円安要因が大幅に縮小したことに加え、営業日が1日少なかったことと、全輸出額の約21%を占める輸送用機器(7.3%減)が減少したためである。
- 2)輸入額は6兆5,182億円、3.5%減と19ヶ月ぶりにマイナス成長となり(4月3.4%増)、輸出よりもマイナス幅が大きくなった。これは、円安要因の大幅な縮小に加え、営業日が1日少なかったこと、全輸入額の約30%を占める原粗油等鉱物性燃料(9.4%減)をはじめ、12%の電気機器(5.0%減)、鉄鉱石等原料品(8.0%減)、輸送用機器(5.6%減)の伸び率が大きくマイナスとなったことによる。
- 3)この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は9,108億円の赤字となり、5月としては、1979年以来、昨年に次ぐ大きさの赤字となった(昨年5月は9,913億円の赤字)。



## 2. 機械貿易動向

### (1) 機械輸出入動向～機械輸出は13ヶ月ぶり、輸入も21ヶ月ぶりのマイナス成長～

- 1)全商品輸出額の約63%を占める5月の機械輸出額は3兆5,373億円、1.3%減と13ヶ月ぶりのマイナス成長となり(4月7.5%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年5月)と比べると78.5%となり、前月に比べて4.6ポイント後退した(4月83.1%)。
- 2)一方、全商品輸入額の26%を占める機械輸入額は1兆6,949億円、0.8%減と21ヶ月ぶりのマイナスとなった(4月12.7%増)。また、輸入額は、14ヵ月連続してリーマンショック前の水準を上回っている。

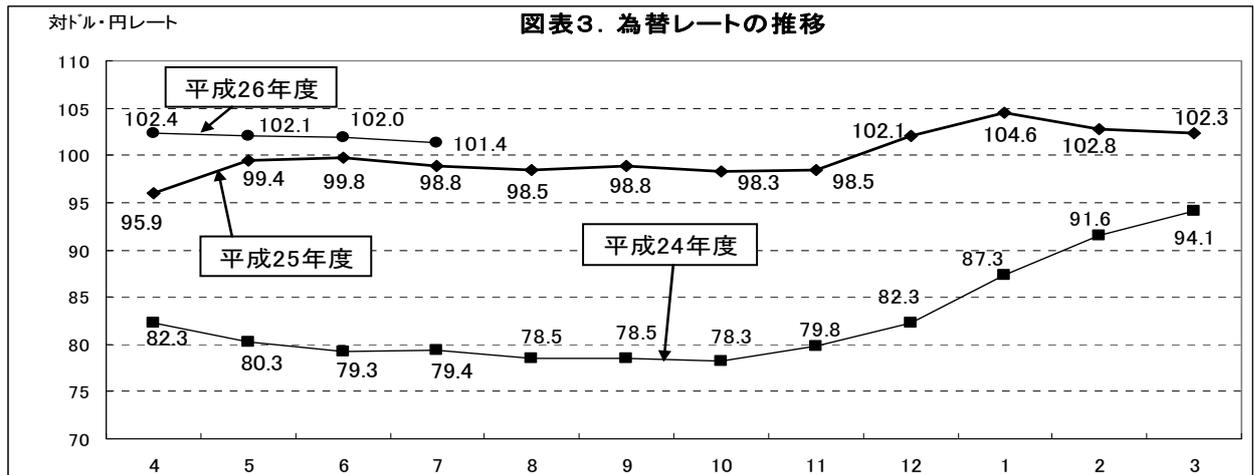


(2) 為替動向・営業日～5月は2.9%の減少要因、6月は5.0%の増加要因～

1) 5月は1ドル＝102.1円と円高是正が弱まり、前年に比べ2.7%の円安となった。また、対ユーロも141.2円と前年に対して9.0%の円安となり、合わせて約2.0%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日少ないため、4.8%の減少要因となり、合わせて2.9%と14ヶ月ぶりの減少要因となった。4月の輸出額は1.3%減であったことから、実質的伸び率は1.6%増と2ヶ月連続でプラスになった(4月2.9%増)。

2) 6月は1ドル＝102.0円と前年に比べ2.2%の円安、対ユーロでは138.9円で前年に対し6.5%の円安となり、合わせて約1.6%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.0%の増加要因となり、合計で6.7%の増加要因となる。

3) 7月は、対ドルが7月24日17:00時点の101.4円とすれば、前年に比べて2.6%の円安、また、対ユーロも136.7円と5.7%の円安となり、合わせると約1.7%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じため、合計で1.7%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～EU、中国向けがプラスなるも、その他地域、NIES/ASEAN、北米向けはマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の11.8%を占めるEU向けは、全体の約31%を占める自動車(17.5%増)をはじめ、電子デバイス(32.7%増)、建設機械(62.8%増)等が大幅にプラスとなり、13.9%増と10ヶ月連続でプラスとなった。②17.7%を占める中国向けでは、自動車(9.9%増)、軽電気機械(7.3%増)、民生用電子機械(17.3%増)等が大きく伸び、5.6%増となった。

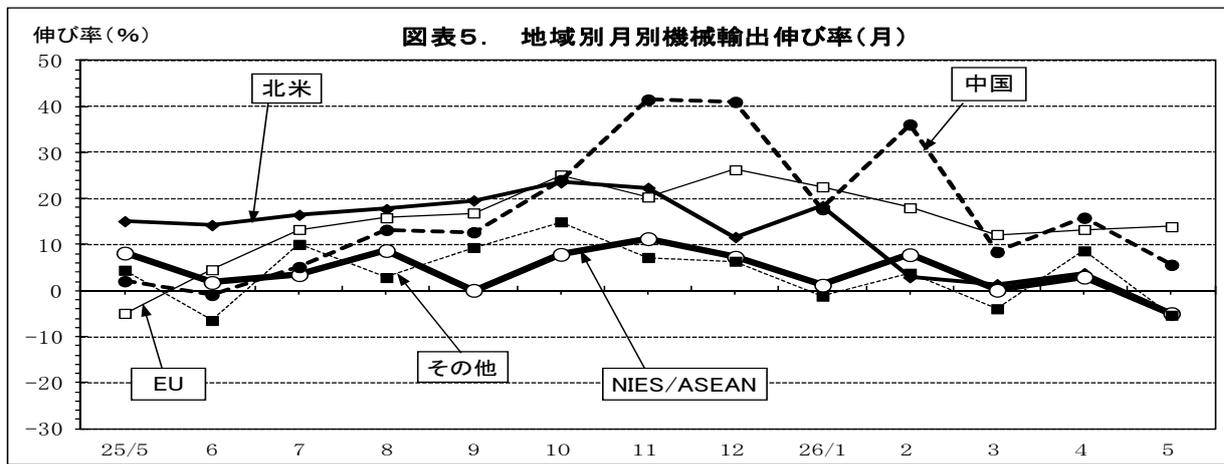
2) 他方、①機械輸出額の19.5%を占めるその他地域向けは、中近東(14.2%増)、アフリカ(7.3%増)、インド(3.2%増)向けがプラスとなったものの、中南米(22.7%減)、大洋州(11.3%減)向けが大幅減となり、機種では、全体の約57%を占める自動車(3.9%減)をはじめ、船舶(25.4%減)、分析・試験・検査機等軽機械(14.7%減)がマイナスとなって5.3%減となり、②27.5%と最大輸出先であるNIES/ASEAN向けでは、ベトナム(14.5%増)が二桁増となったものの、タイ、インドネシア(ともに13.0%減)、台湾(8.8%減)等が大幅マイナスとなり、業種では、重電気機械(4.2%増)、軽電気機械(1.4%増)がわずかに増加したものの、自動車(13.8%減)、電子デバイス(5.8%減)等が大幅に減少して5.0%減となった。③23.6%を占める北米向けでは、全体の約44%を占める自動車(13.6%減)をはじめ、重電気機械(3.6%減)、建設機械(10.1%減)、民生用電子機械(18.4%減)等が大幅に減少して4.8%減と17ヶ月ぶりのマイナスとなった。

3) また、リーマンショック前の平成20年5月の地域別輸出額と比較すると、中国向け(99.5%)をはじめ、80%台のNIES/ASEAN、北米向け、70%台のその他地域向け、50%台のEU向けと全ての地域向けが水準に達しなかった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向 (単位: 億円)

	2014/3			2014/4			2014/5			対08年 5月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	41,093	2.0	100	39,025	7.5	100	35,373	▲ 1.3	100	0.79
北米	9,426	1.4	22.9	9,504	3.8	24.4	8,337	▲ 4.8	23.6	0.82
EU	4,580	12.2	11.1	4,461	13.3	11.4	4,163	▲ 13.9	11.8	0.57
NIES/ASEAN	11,090	0.1	27.0	10,611	2.9	27.2	9,714	▲ 5.0	27.5	0.83
中国	7,064	8.4	17.2	6,591	15.8	16.9	6,271	5.6	17.7	0.995
その他	8,932	▲ 3.9	21.7	7,858	8.7	20.1	6,888	▲ 5.3	19.5	0.73

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別)(金額単位:億円)

国名	2014/2		2014/3		2014/4		2014/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,810	8.6	2,039	▲ 0.9	1,819	▲ 4.0	1,726	▲ 4.0
台湾	1,633	14.0	1,933	9.7	1,817	16.5	1,613	▲ 8.8
香港	1,472	34.2	1,648	14.2	1,686	15.4	1,625	▲ 1.5
タイ	1,562	▲ 13.0	1,721	▲ 15.3	1,607	▲ 13.2	1,516	▲ 13.0
シンガポール	878	35.5	969	2.4	878	▲ 7.0	754	▲ 6.5
インドネシア	757	▲ 13.3	855	▲ 16.3	913	▲ 0.6	719	▲ 13.0
マレーシア	673	▲ 2.4	801	4.8	730	7.8	675	7.3
フィリピン	513	8.0	531	1.8	606	13.4	514	3.0
ベトナム	407	33.8	484	18.3	436	20.5	459	14.5
その他地域								
中南米	2,319	12.7	2,660	▲ 11.7	2,277	12.9	2,079	▲ 22.7
中近東	1,848	19.3	2,093	19.7	2,010	30.0	1,645	14.2
大洋州	1,077	▲ 9.9	1,300	▲ 6.3	1,114	▲ 6.2	912	▲ 11.3
ロシア東欧等	1,368	0.5	1,457	▲ 0.2	1,229	▲ 10.6	1,056	▲ 5.6
アフリカ	814	▲ 14.4	721	▲ 22.3	653	10.6	595	7.3
インド	317	▲ 18.0	433	▲ 10.7	311	▲ 25.4	336	3.2

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中6業種マイナス、自動車、産業機械の連続プラス途絶える～

- 業種別では、全19業種中6業種がマイナスとなり、前月より4業種増加した。全体の約32%を占める自動車(5.6%減)が14ヶ月ぶり、約18%の産業機械(0.2%減)が13ヶ月ぶりのマイナスとなったほか、電子デバイス(5.2%減)、民生用電子機械(6.0%減)、船舶(31.6%減)等がマイナスとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのはベアリング、軽機械、光学機械、医療機械、工作機械の5業種で、電子計算機、民生用電子機械が40%台、建設機械、通信機械、産業車両が50%台の低い水準にある。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2014/3			機種名	2014/4			機種名	2014/5			対08/5比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	13,633	4.7	33.2	自動車	13,784	3.9	35.3	自動車	11,445	▲ 5.6	32.4	0.75
産業機械	7,462	6.1	18.2	産業機械	6,672	9.5	17.1	産業機械	6,351	▲ 0.2	18.0	0.88
電子デバイス	2,906	▲ 3.8	7.1	電子デバイス	2,929	1.2	7.5	電子デバイス	2,829	▲ 5.2	8.0	0.70
重電気機械	2,168	3.2	5.3	重電気機械	2,063	11.5	5.3	重電気機械	1,913	2.4	5.4	0.93
軽電気機械	2,097	1.0	5.1	軽電気機械	2,020	5.6	5.2	軽電気機械	1,884	3.9	5.3	0.81
船舶	1,856	▲ 17.9	4.5	軽機械	1,574	14.0	4.0	軽機械	1,452	5.6	4.1	1.11
民生用電子機械	1,574	▲ 1.1	3.8	民生用電子機械	1,462	▲ 2.8	3.7	民生用電子機械	1,418	▲ 6.0	4.0	0.44
軽機械	1,548	5.7	3.8	光学機械	1,410	17.3	3.6	光学機械	1,371	2.1	3.9	1.09
光学機械	1,477	4.4	3.6	船舶	1,255	9.6	3.2	船舶	1,132	▲ 31.6	3.2	0.79
建設機械	1,163	▲ 14.2	2.8	建設機械	1,096	19.6	2.8	建設機械	875	▲ 0.03	2.5	0.57
工作機械	910	2.8	2.2	工作機械	770	26.3	2.0	工作機械	841	33.7	2.4	1.02
通信機械	530	9.3	1.3	通信機械	547	27.4	1.4	通信機械	512	25.4	1.4	0.58
電子計算機	495	▲ 6.5	1.2	ベアリング	422	16.1	1.1	電子計算機	404	8.8	1.1	0.45
医療機械	472	5.4	1.1	電子計算機	419	5.9	1.1	ベアリング	382	6.5	1.1	1.13
陸用内燃機関	411	▲ 4.1	1.0	陸用内燃機関	366	▲ 0.4	0.9	医療機械	379	21.7	1.1	1.07
ベアリング	398	5.7	1.0	医療機械	359	16.3	0.9	陸用内燃機関	341	5.3	1.0	0.91
繊維機械	304	31.6	0.7	繊維機械	218	6.3	0.6	繊維機械	218	9.5	0.6	0.88
農業機械	183	4.7	0.4	農業機械	178	18.8	0.5	農業機械	181	40.9	0.5	0.90
産業車両	128	▲ 0.9	0.3	産業車両	142	13.9	0.4	産業車両	125	13.2	0.4	0.58
19業種合計	39,716		96.7	19業種合計	37,687		96.6	19業種合計	34,053		96.3	0.77

▲は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～産業用ロボット、農業機械等大幅増、船舶、デジカメ・ビデオ等大幅減～

1) 5月で10%以上の伸び率を示した機種は、①北米、中国向け**産業用ロボット**(43.3%増)、②北米、NIES/ASEAN、EU向け**農業機械**(40.9%増)、③NIES/ASEAN、中国、北米向け**工作機械**(33.7%増)、④NIES/ASEAN向け**発電機**(30.2%増)、⑤中国、NIES/ASEAN向け**通信機械**(25.4%増)、⑥北米、EU向け**医療機械**(21.7%増)、⑦NIES/ASEAN、その他地域向け**原動力機械**(15.2%増)、⑧NIES/ASEAN向け**時計**(13.3%増)、⑨NIES/ASEAN、その他地域向け**産業車両**(13.2%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、船舶(31.6%減)、デジカメ・ビデオ(15.2%減)、ラジオ(11.9%減)、録画・再生機器(11.1%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円)

2014/3			2014/4			2014/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,425	42.7	産業用ロボット	141	43.8	産業用ロボット	125	43.3
産業用ロボット	138	32.2	半導体製造装置	1,169	35.9	農業機械	181	40.9
繊維機械	304	31.9	通信機械	547	27.4	工作機械	841	33.7
運搬機械	357	31.0	工作機械	770	26.3	発電機	107	30.2
TV	110	28.3	建設機械	1,096	19.7	通信機械	512	25.4
電池	218	12.7	農業機械	178	18.8	医療機械	379	21.7
乗用車	7,800	12.3	光学機械	1,410	17.3	原動力機械	429	15.2
機種合計	10,352	25.2%	時計	98	16.6	時計	99	13.3
			ベアリング	422	16.4	産業車両	125	13.2
			医療機械	359	16.3	機種合計	2,798	7.9%
			機種合計	6,190	15.9%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合  
運搬機械: クレーン、ウインチ、エレベーター等

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円)

2014/3			2014/4			2014/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
金属加工機械	345	▲ 20.7	電子応用装置	28	▲ 28.2	船舶	1,132	▲ 31.6
船舶	1,856	▲ 17.9	原動力機械	375	▲ 25.7	デジカメ・ビデオ	389	▲ 15.2
建設機械	1,163	▲ 14.1	発電機	93	▲ 10.2	ラジオ	17	▲ 11.9
電子応用装置	55	▲ 11.9	機種合計	496	1.3%	録画・再生機器	7	▲ 11.1
機種合計	3,419	8.3%				機種合計	1,545	4.4%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内・機種合計の%は輸出額に占める割合  
電子応用装置: 電子顕微鏡等

(6) 機械輸入動向～21ヶ月ぶりに伸び率が減少、携帯電話、白物家電、乗用車もマイナスに～

1) 5月の機械輸入伸び率は0.8%減と21ヶ月ぶりのマイナスとなった。これは、円安要因の大幅な縮小と営業日が1日少ないことに加え、主要機械輸入機種である携帯電話(59.4%減)や21ヶ月ぶりにマイナスとなった白物家電(4.5%減)や乗用車(9.7%減)等 上位12機種のうち7機種がマイナスとなったことによる。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、白物家電、携帯電話、医療機械、時計、TV、録画・再生機器、ラジオ、写真機となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の42%を占める中国(1.9%減)、ASEAN(4.7%増)、韓国・台湾(1.5%減)、EU(0.5%減)、北米(6.0%減)、その他地域(12.1%増)の順であった。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2014/3				2014/4				2014/5			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,641	46.4	12.4	電子デバイス	2,282	31.1	10.7	電子デバイス	2,168	7.8	12.8
電子計算機	2,618	30.2	12.3	電子計算機	2,044	15.4	9.6	電子計算機	1,828	4.9	10.8
携帯電話	1,593	49.4	7.5	携帯電話	1,006	10.9	4.7	自動車部品	990	10.2	5.8
乗用車	1,080	20.2	5.1	自動車部品	920	20.9	4.3	白物家電	838	▲ 4.5	4.9
自動車部品	1,058	49.0	5.0	白物家電	781	8.9	3.7	乗用車	699	▲ 9.7	4.1
医療機械	821	36.9	3.9	乗用車	732	2.4	3.4	携帯電話	551	▲ 59.4	3.3
白物家電	750	21.6	3.5	医療機械	491	▲ 2.5	2.3	医療機械	497	▲ 0.2	2.9
航空機類	704	47.4	3.3	航空機類	404	35.2	1.9	航空機類	370	▲ 30.6	2.2
分析・試験・検査機	449	32.5	2.1	民生用電子部品	328	3.3	1.5	民生用電子部品	338	▲ 1.5	2.0
光学機械	391	16.7	1.8	風水力機械	320	23.3	1.5	光学機械	317	9.3	1.9
民生用電子部品	379	24.8	1.8	光学機械	308	4.6	1.4	分析・試験・検査機	315	▲ 1.1	1.9
TV	314	16.1	1.5	分析・試験・検査機	299	15.7	1.4	風水力機械	314	8.2	1.9
12機種合計	12,798		60.2	12機種合計	9,915		46.6	12機種合計	9,225		54.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械